

日本赤十字九州国際看護大学紀要 執筆要領

日本赤十字九州国際看護大学紀要規程第8条に基づきこの執筆要領を定める。

1. 執筆形式

- (1) 原稿は和文または英文とする。次の形式にてA4版で作成する。
- (2) 和文は明朝体で48字(全角)×44行とする。
- (3) 英文はCentury体で92字(半角)×44行とする。
- (4) 和文の場合であっても、英数字、度量衡の単位、外国人名はすべて半角(1バイト、ASCIIコード)に統一する。例えば、℃、m²、kgなど機種に依存する特殊記号は使用しない。
ただし、和文にコンマ「,」、ピリオド「.」、コロンの「:」等の記号を使用する場合は全角とする。
- (5) カタカナは必ず全角文字(2バイト)とし、半角文字(1バイト)では表記しない。「ナース」は「ナース」と表記する。
- (6) イタリック体ギリシャ文字など特別な字体、記号はそのつど明瞭に指定する。

2. 原稿の作成及び構成

原稿は本学紀要規程第6条に規定の別紙Word①～④の各様式に沿って作成し、タイトルページのみ別のファイルで提出する。

- ①タイトルページ(原稿の種類、タイトル、サブタイトル、著者名、所属、メールアドレス)
論壇を除く全ての投稿原稿には、抄録を付ける。
- ②和文抄録(原稿の種類、タイトル、サブタイトル、キーワード、要旨)
和文要旨は600字程度。背景、目的、研究デザイン、対象、結果、結論などで構成し、簡潔にまとめる。
- ③英文抄録(上記②に同じ)
英文要旨は300字程度。Background、Objective、Design、Subjects、Results、Conclusionなどで構成し、簡潔にまとめる。
- ④本文(原稿の種類、タイトル、サブタイトル、本文)
 - ア. 原著論文の本文構成、大項目は次のとおりとする。大項目は太字、ゴシック体とする。
 - I はじめに(または緒言)**
 - II 研究方法**
 - III 結果**
 - IV 考察**
 - V 結論**
 - 謝辞**
 - 文献**
 - イ. 段落番号は、全角、太字、ゴシック体 **1. 2. 3.** とし、さらに細分する場合は、全角、明朝体 1) 2) 3)、(1) (2) (3)、①②③とする。

図、表および写真は、それぞれ指定された形式で1ページに1点作成し、図、表および写真の上部または下部にタイトル名を記す。

ファイル形式は、図および写真はPower Point (PPT[X]) または JPEG(JPG)形式、表はExcel (XLS[X]) とする。

図1、表1、写真1と通し番号を振り、本文中に赤字で挿入位置を明記する。

なお、印刷・製版に不相当と認められる図表は、書換えを求めることがある。

3. 文献の記載

文献(References)の記載については次のとおりとする。

- (1) 文献は本文中の引用箇所の肩に1)、1～5)、1,3～5)のように番号で示し、本文の最後の一括して引用番号順に記載する。

(2) 文献の著者が3人以下の場合は全員、4人以上の場合は3人までを挙げ、4人目以降は省略して3人の著者名の後に「, 他」と記す。欧文献で著者が4人以上の場合は、3人の著者名の後に「, et al.」と記す。

(3) 外国人著者名の英語表記は次のとおりとする。

last name 「, (コンマ)」 「」 半角スペース first name. 「」 半角スペース middle name.

(first name, middle name はイニシャルのみでよい)

<例1>Patricia E Benner → Benner「」 P「」 E.

<例2>Denny A Jones, Peter Wilkinson, Tim Roberts, Gryna Frank M.

→ Jones「」 D「」 A., 「」 Wilkinson「」 P. 「」 Roberts「」 T. 「」 et al.

(4) 文献の種類別の記載は、次のとおりとする。

【和文献】

〔雑誌〕 著者名：表題. 雑誌名, 巻(号)：頁-頁, 発行年(西暦年次).

<例>浦田喜久子, 東智子, 大林由美子, 他：看護職のみで編成された日本赤十字社の「看護ケア班」：派遣の経緯から派遣準備、そしてチームの意義. 看護管理, 22(1)：39-43, 2012.

〔単行本〕 著者名：書名(版). 頁-頁, 出版地, 出版社(発行所), 発行年(西暦年次).

<例>青山温子, 原ひろ子, 喜多悦子：開発と健康：ジェンダーの視点から. 33-34, 東京, 有斐閣, 2001.

〔単行本の分担執筆箇所〕 分担著者名：分担箇所のタイトル. 編集者名：書籍のタイトル. 引用頁数, 出版地, 出版社, 発行年(西暦年次).

<例>樋口昌彦：コミュニケーション技術への視線：プロセスレコードの社会学的研究. 山中浩司編：臨床文化の社会学. 47-48, 京都, 昭和堂, 2005.

〔翻訳本〕 原著者名：原書名[イタリック体, 単語の頭は大文字](版). 発行年(西暦年次), 訳者名：書名. 頁-頁, 出版地, 発行所, 発行年(西暦年次).

<例>Nightingale, F.：Notes on Hospitals (3rd ed.). 1863, 薄井坦子訳：病院覚え書. ナイチンゲール著作集第2巻. 301, 東京, 現代社, 1974.

〔オンライン資料 doiなし〕 著者名：表題. 雑誌名, 巻(号)：頁-頁, 発行年(西暦年次). URL, (参照入手日付 西暦年-月-日).

<例>岡村純：質的研究の看護学領域への展開—社会調査方法論の視点から—. 沖縄県立看護大学紀要, 5：3-15, 2004.

<http://okinawa-repo.lib.u-ryukyu.ac.jp/bitstream/okinawa/5131/1/No5p3.pdf>, (参照 2015-06-15).

〔オンライン資料 doiあり〕 著者名：表題. 雑誌名, 巻(号)：頁-頁, 発行年(西暦年次). doi：doi番号 [doi番号の後にピリオドをつけない]

<例>山勢善江, 山勢博彰, 立野淳子：救急・クリティカル領域における家族看護の構造モデル. 山口医学, 62(2)：91-98, 2013. doi:10.2342/ymj.62.91

〔ウェブサイト中の記事〕 著書名. “ウェブページの題名.” ウェブサイトの名称. 入手先URL, (参照入手日付 西暦年-月-日).

<例>中央教育審議会. “教育進行基本計画について—「教育立国」の実現に向けて—(答申).” 文部科学省. http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/08042205.htm, (参照 2015-06-15).

[新聞] 著者名：記事のタイトル. 新聞名（地方版名），朝夕刊の別，掲載日付，ページ.

<例>知野恵子，岩本洋二：[解説スペシャル] 災害時 SNS活用するには. 読売新聞（東京），朝刊，2017年8月25日，13.

[その他：既出の文献の再引用] 著者名，前掲 文献番号) ページ.

<例> 3) 佐野常民，前掲 1) 25-26.

【欧文献】

コンマ「,」、ピリオド「.」、コロソ「:」は半角とし、後に「半角スペース」を入れる。

<例1>× with socioeconomic position:baseline data from

○ with socioeconomic position baseline data from

<例2>× 58(2):10-15, 2012.

○ 58(2) 10-15 2012.

[雑誌] 著者名：表題 [はじめの一文字のみ大文字]. 雑誌名[イタリック体、省略しない、単語の頭は大文字]，巻(号)：頁-頁，発行年(西暦年次).

<例>Breeze, E., Jones, D. A., Wilkinson, P., et al.: Association of quality of life in old age in Britain with socioeconomic position: baseline data from a randomized controlled trial. *Journal of Epidemiology & Community Health*, 58(8): 667-673, 2004.

[単行本] 著者名：書名[イタリック体、単語の頭は大文字] (版). 頁-頁，出版地，出版社(発行所)，発行年(西暦年次).

<例>Smith, M. J., Liehr, P. R.: *Middle Range Theory for Nursing* (3rd ed.). 58-60, New York, Springer, 2014.

[単行本の分担執筆箇所] 分担著者名：分担箇所のタイトル[はじめの一文字のみ大文字]. In: 編集者名：書籍のタイトル[イタリック体、単語の頭は大文字]. 引用頁数，出版地，出版社，発行年(西暦年次).

<例>Chase, S. E.: Narrative inquiry: multiple lenses, approaches, voices. In: Denzin, N. K., Lincoln, Y. S. (eds.): *The Sage Handbook of Qualitative Research* (3rd ed.). 651-680, Thousand Oaks, Sage Publications, 2005.

[オンライン資料 doi なし] 著者名：表題[はじめの一文字のみ大文字]. 雑誌名[イタリック体、省略しない、単語の頭は大文字]，巻(号)：頁-頁，発行年(西暦年次). URL, (参照 入手日付 西暦年-月-日).

<例>Phillips, J. M., Malone, B.: Increasing racial/ethnic diversity in nursing to reduce health disparities and achieve health equity. *Public Health Reports*, 129(Suppl 2): 45-50, 2014. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3863700/>, (accessed 2015-06-15).

[オンライン資料 doi あり] 著者名：表題[はじめの一文字のみ大文字]. 雑誌名[イタリック体、省略しない、単語の頭は大文字]，巻(号)：頁-頁，発行年(西暦年次). doi: doi 番号 [doi 番号の後にピリオドをつけない]

<例>Ueda, R., Okamura, J.: Simplified Japanese Self-Perception Scale for Young Adults(SJS-PSYA) to identify risk cases. *Journal of Advanced Nursing*, 33(5): 644-651, 2001. doi: 10.1046/j.1365-2648.2001.01708.x

[ウェブサイト中の記事] 著書名. “ウェブページの題名.” ウェブサイトの名称. 入手先 URL, (参照 入手日付 西暦年-月-日).

<例>International Organization for Standardization. “How ISO develops standards.” International Organization for Standardization. <http://stuffandnonsense.co.uk/content/demo/iso/about/how-ISO-develops-standards.html>, (accessed 2015-06-15).

〔その他：既出の文献の再引用〕 著者名, op. cit. 前掲 文献番号) ページ.

<例> 3) Sano, T., op. cit. 1) 25-26.

【その他】

上記のいずれにも該当しない引用文献の記載方法については、委員会で協議し、書式を決定する。

附 則

この要領は、平成26年6月12日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

この要領は、平成28年1月21日から施行し、平成27年7月1日から適用する。

この要領は、令和2年8月6日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

この要領は、令和4年6月23日から施行し、令和4年4月1日から適用する。